

質問 70歳女性。肺がんで化学療法中です。先月から背中や足の痛みと、足のしびれがあり、画像検査の結果、腰椎の骨転移と診断されました。今後どうなるか不安です。がんの骨転移について教えてください。

骨転移とは



宮城 亮
県立中央病院
整形外科副部長

回答 がんは日本人の2人に1人が

かかると思われる身近な病気です。一方、がんで亡くなった人の病理解剖の結果から20〜60%に骨転移が見られたとの報告もあります。

がん患者にとって骨転移は決して珍しいことではありません。近年のめざましい薬物治療の進歩によって骨転移を生じても、がんを治療しながら、骨転移と上手に共存できるようにになりました。

骨にがんが転移した場合、初期では症状がほとんどないため、気づきにくいです。それでも骨転移が進行すると、痛みやしびれ、まひなどが起きやすくなります。正常な骨が破壊され骨の強度が弱くなることで少しの力がかかると骨折しやすくなります。

背骨に転移し、脊髄(神経)が圧迫されると、手

強度弱まり骨折しやすく



足感覚障害や運動障害をきたし、歩行困難となり車いすや寝たきりでの生活を余儀なくされます。また、骨のカルシウムが血液に流れ出す「高カルシウム血症」が起きると、食欲不振、吐き気、倦怠感、意識障害などの症状がみられることがあります。偶然発見された場合や無症状の場合、骨折やまひのリスクが低い場合は経過観察を行います。症状が悪化する前に骨転移を発見し、骨折や

まひを予防することが重要です。

がん何でもクイズ

患者やその家族の身体的・精神的苦痛を取り除くケアを何というか。

- ①緩和ケア ②セラピー
- ③カウンセリング

行こうよ！がん検診

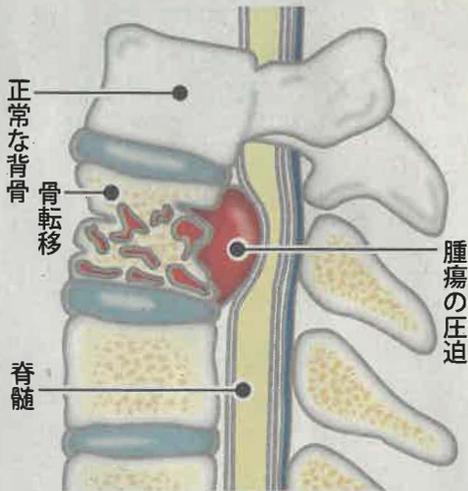
骨転移の治療は、症状を緩和して運動機能を維持しQOL(生活の質)を保つのが目的です。具体的には薬物治療、放射線治療、手術療法などがあります。これらの治療をがんの進行度や患者の状態、骨転移の状態に合わせて組み合わせ、選択します。骨転移に対する手術では、骨が弱く骨折

やまひのリスクを評価した上で、整形外科医や主治医と相談して治療法を決めます。

骨転移が見つかった場合はステージ4の進行がんとされますが、骨転移は直接命を脅かしません。症状を正しく理解して早期に治療をすれば、QOLを維持できます。

(第4土曜掲載)

進行度見極め治療選択



正常な背骨

骨転移

脊髄

腫瘍の圧迫